



## 我が署の名所

越後米沢街道「黒沢峠」

↳古の道 敷石道

置賜森林管理署

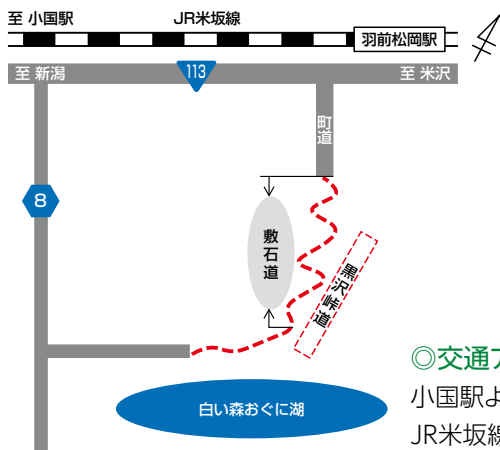
慶応から明治初期まで、置賜地方と越後を結んだ越後米沢街道十三峠のひとつ「黒沢峠」は、山形県小国町の黒沢地区と市野々地区までを結ぶ約2,600mの歴史街道で、「歴史の道100選」「日本風景街道」にも登録されています。

越後米沢街道は、戦国大名伊達植宗が1521年に開削し、その後、黒沢峠を含め順次整備されてきたものです。

黒沢峠2,600mのうち1,800mは、江戸時代に作られた敷石道であり、その石の数は3,600段とも言われています。

この敷石道は、明治17年（1844年）の県道開通に伴い、長い間土に埋もれていましたが、昭和55年に地元の黒沢峠敷石道保存会が敷石を掘り起こし、5年の歳月をかけて復元させ、往時を偲ばせる古道として訪れる人を魅了しています。また、文化庁選定の「歴史の道100選」では、『これほど美しく特徴のある街道は「歴史の道100選」の中でも唯一のものだ...』と紹介されています。

黒沢峠の大部分は国有林であり、黒沢峠敷石道保存会と当署で「多様な活動の森における「黒沢峠敷石道の森」活動に関する協定」を締結し、保全と普及を図りながら、この貴重な歴史の道を後世に引き継ぐべく取り組んでいます。



### ◎交通アクセス

小国駅より車で約10分

JR米坂線「羽前松岡駅」より徒歩約45分

